

授業科目 家族看護学

【担当教員名】		対象学年	2	対象学科	看護
岩 田 みどり		開講時期	後期	必修・選択	選択
		単位数	2	時間数	30
【概要・一般目標：G10】 本科目では、家族看護学的主要理論を理解し、発達課題や家族関係を分析する上で必要となるアセスメントの能力を修得する。また、代表的な事例を用いて、家族の問題を明確化する家族アセスメントの過程を理解し、家族を支援するために看護師に必要な能力について考察する。					
【学習目標】 1) 現代社会の家族の状況や、家族看護学の経緯について理解し家族看護学に興味がもてる。 2) 家族看護学に活用されている諸理論について理解できる。 3) 家族アセスメント・モデルの概要について理解できる。 4) 家族看護の具体的事例から家族アセスメントの過程を具体的に理解できる。 5) 家族看護の実践における看護師の役割について考察できる。					
回数	授業計画・学習の主題			SB0 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	1) 家族看護学の概要、現代社会の家族の状況や、家族看護学の経緯について説明する。			1	講義
2	2) 家族看護学に活用されている諸理論、家族の発達段階について説明する。			2	講義
3	3) 家族アセスメント・モデルについて説明する。また、事例を用いてジェノグラム・エコマップを具体的に記述する。			3	講義
4	3) 家族アセスメント・モデルについて説明する。また、事例を用いてジェノグラム・エコマップを具体的に記述する。			3	講義
5	4) 子どもと家族の具体的事例から家族看護学のアセスメント過程を説明する。			4	講義
6	5) 中間のまとめ・課題レポートについて説明する。			4	講義
7	家族周期別の事例から家族看護学を説明する。1. 出産期の家族看護			4	オムニバス(塚本)
8	家族周期別の事例から家族看護学を説明する。2. 難病の患者を持つ家族の看護			4	オムニバス(渋谷)
9	家族周期別の事例から家族看護学を説明する。3. 高齢者と家族の看護			4	オムニバス(梨本)
10	家族周期別の事例から家族看護学を説明する。4. 精神的問題を持つ患者の家族の看護			4	オムニバス(金谷)
11	家族周期別の事例から家族看護学を説明する。5. 障害を持つ子どもと家族の看護			4	オムニバス(スポット講師)
12	5) 家族問題6テーマから、ひとつの事例を選び、家族のアセスメントと必要な援助について課題レポートにまとめる。また、メンバーの発表を評価し、発表から複数の家族問題を理解する。			5	演習
13	〃			5	〃
14	〃			5	〃
15	まとめ			5	
【使用図書】		<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)		家族看護学第三版	鈴木和子 他	看護協会出版会	3,200円
参考書					
その他の資料					
【評価方法】		【履修上の留意点】			
筆記テスト30%＋課題レポート40%＋講義毎の小レポート20%＋出席10%		1. 中間テストをすることで前半の学習の理解状況を自己評価してもらう。2. 授業を積極的に受け、テキストを利用して主体的に学習することを期待している。			